

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名：笠原理化工業株式会社
住所：〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 丁目 133 番 8
電話番号：0480-38-9151
FAX 番号：0480-38-9157
整理番号：1606062
作成・改訂日：令和元年 5 月 9 日

【製品名】 飽和塩化カリウム溶液《PH/ORP/F イオン 電極内部液》

【危険有害性の要約】

GHS分類

物質または混合物の分類

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語 警告

危険有害性情報

H320 - 眼刺激

注意書き-(安全対策)

- ・ 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。

注意書き(応急措置)

- ・ 眼に入った場合、数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ 眼の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。

注意書き-(保管)

- ・ 非該当

注意書き-(廃棄)

- ・ 非該当

その他

ほかの危険有害性 情報なし

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名	含有量	化学式	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号	CAS 番号
水	balance	H ₂ O	N/A	N/A	7732-18-5
塩化カリウム	25～30%	KCl	(1)-228	N/A	7447-40-7

不純物または安定化添加剤 非該当

【応急措置】

- 目に入った場合: 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- 皮膚に付着した場合: すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。
炎症が生じ、続く場合には医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。
医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- 応急処置をするものの保護: 個人用保護具を着用すること。

【火災時の措置】

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと

- 使ってはならない消火剤 利用可能な情報はない
- 特有の消火方法 利用可能な情報はない
- 火災時の特有危険有害性 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火を行なう者の保護 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
残りは、大量の水で洗い流す。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

【取り扱い及び保管上の注意】

技術的対策

眼および皮膚への接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

保管条件

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料

ポリエチレン

混触禁止物質

利用可能な情報はない

【ばく露防止及び保護措置】

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準

設定されていない。

ばく露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

保護具

呼吸器用保護具 : 保護マスク

手の保護具 : 保護手袋

眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護長靴

適切な衛生対策 : 産業衛生および安全の基準に基づいて取扱う。

【物理的及び化学的性質】

外観等	: 無色 澄明 液体
臭い	: 無臭
引火点	: データなし
蒸気圧	: データなし
pH	: データなし
融点、凝固点	: データなし
沸点	: データなし
比重(密度)	: 1.177g/ml(20°C)
溶解度	: データなし
動粘性率	: データなし

【安定性及び反応性】

安定性

安定性 推奨保管条件下で安定。

反応性 データなし

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温、直射日光。

混触危険物質

利用可能な情報はない。

危険有害な分解生成物

利用可能な情報はない。

【有害性情報】

急性毒性

化学名	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 LD50
塩化カリウム	2600mg/kg (Rat)(as KCl)	N/A	N/A

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

【環境影響情報】

生態毒性

化学名	藻類／水生生物	魚	甲殻類
塩化カリウム	EC50:Desmodesmus subspicatus 2500 mg/L 72 h (as KCl)	LC50:Lepomis macrochirus 1060 mg/L 96 h (as KCl)	EC50:Daphnia magna 825 mg/L 48 h (as KCl)

その他のデータ

データなし

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

【廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

【輸送上の注意】

ADR/RID(陸上) 規制されていない

国連番号

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質 非該当

IMDG(海上) 規制されていない

国連番号

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質 非該当

MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送

非該当

IATA(航空) 規制されていない

国連番号

品名

国連分類

副次危険性
容器等級
環境有害物質 非該当

【適用法令】

国際インベントリー

EINECS/ELINCS 収載

TSCA 収載

国内法規

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当

航空法 非該当

PRTR法 非該当

引用文献

免責事項

この SDS は JIS Z 7253:2012 に 準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど 特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは 異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り 扱いには十分ご注意ください。 GHS 分類は JIS Z7252(2010)に準拠している。 *JIS: 日本工業規格